



令和4年度開催

市長と語ろう！

ちくせい市政懇談会

須藤市長が市政の課題を市民のみなさんと一緒に考え、知恵を出し合う市政懇談会を3年ぶりに実施しました。みなさんからの貴重なご意見・ご提案は、今後、市政の参考とさせていただきます。懇談会にご参加いただき、ありがとうございました。

【問】 広報広聴課（本庁4階） ☎ 24-2172

地域女性団体連絡会

11月29日 / 参加人数24人

テーマ 学校統合について

令和5年度に下館北中が下館中に統合され、令和6年度に明野地区の小学校と中学校が統合し、義務教育学校「明野五葉学園」が開校するため、学校統合をテーマに意見が交わされました。

Q 学校跡地の活用について

教えてください

現在、学校跡地活用検討委員会とワーキングチームで活用方法の検討を進めているところ。市としては活用しない方針だが、来年度当初から民間企業などによる活用について、公募する予定である。

Q 明野五葉学園と他校で

学力の差は生じないのか

10年前から小中学校の連携強化に取り組む、教育の充実化を図っている。



Q 統合で新しい環境に移る生徒に対するケアは

生徒にどのようなケアは

現在すでに、下館中と下館北中と一緒に部活動のチームを作ったり、オンライン授業や学校行事を行ったりすることで、新しい環境にスムーズに適應できるように取り組んでいる。

市自治会連合会

2月8日 / 参加人数17人

テーマ 学校給食について

Q 給食の食品ロスの取組みは

給食の食べ残しの状況は、市全体で1人あたり1日平均20gで月平均3700kg。食品ロスは減少傾向だが、一層の削減には日々の献立が重要。栄養面をしっかりと考えたうえで、子どもたちが食べなくなる献立を考えていきたい。

Q 食育に関する取組みは

学校での給食への考え方や指導法は変化してきており、現在は栄養教諭などが、教室で給食に関連して食育の指導にあたっている。また、子どもたちが食に関する正しい知識を身につけるためには給食だけでなく、家庭での食

生活も大切。今後、家庭も巻き込んで食育を推進していきたい。

Q 地産地消への考え方は

地元産の食材を第一に使用したいと考えている。現在、筑西市産約34%、茨城県産約21%、国内産約44%である。今年度、牛乳以外の食材に全て筑西市産を使用する取組みを実施した。今後も、筑西市産の食材をより多く使用する努力を続けていきたい。

